

学年 中学校第2学年	テーマ 職業	学習形態 グループ
------------	--------	-----------

単元名 自分の好きなこと・得意なことを生かした仕事で事業所・利用者の人に笑顔になってもらおう。

本質的な問い 自分たちは、何を目的に、どう働きたいのか？
--

単元を終えた後の児童・生徒の姿 自分の好きなこと・得意なことを生かすことが解決方法の1つであることを理解しており、次なる問題解決に向けて自立して探究しようとする気持ちを醸成している。

単元を始める前の児童・生徒の姿 社会の問題を解決したいという気持ちはある。しかし、どうやって解決すれば良いかわかっていない。
--

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【①知識】 仕事には、たくさんの業務があり、その中に自分の好きなこと・得意なことを生かせる業務があることを理解している。 【②技能】 自分の好きなこと・得意なことを生かして、事業所や利用者の目的に応じた成果物を製作している。 【③探究的な学習のよさの理解】 事業所の困りごとの解決が、将来の職業選択のみならず、今後の自分自身の生き方に深くかかわっていることを理解している。	【④課題の設定】 職場の困りごとを解決するための成果物について、何をどのように調べ、解決するか見通しをもって企画書を作成している。 【⑤情報の収集】 職場の困りごとを解決する企画書を作成するために必要な情報を効率的に収集する手段を選択している。 【⑥整理・分析】 職業インタビューで複数の職業の方のお話から分かったことの共通点や差異点を見付けている。 【⑦まとめ・表現】 これまでの学習を振り返る中で、自分自身の成長や変化を自覚し、これから取り組むことを明らかにしている。	【⑧-1 自己理解】 これまでの自分の生活を見直し、自分の好きなこと・得意なことを理解しようとしている。 【⑧-2 他者理解】 解決方法について異なる意見や他者の考えを聞き入れようとしている。 【⑨主体性・協働性】 自分の意思で事業所の困りごとの解決に向けて、取り組もうとし、自分もしくは他者の良さを生かしながら、協力して成果物の製作に取り組もうとしている。 【⑩将来展望・社会参画】 職業との関わりの中で自己の生き方を考え、生活や社会の中から、自分の好きなこと・得意なことを生かして、自分で解決できることを見つけようとしている。

	1	2	3
貫	「自分たちの好きなこと・得意なことは、仕事でどう生かすことができるのか?」「自分たちの好きなこと・得意なことを仕事に生かすと、社会はどうなるのだろうか?」		
月	5	6	7
内容	自己分析・職業インタビュー【10 時間】 ・今年のテーマは「自分の好きなこと・得意なこと×職業」、みんなの好きなこと・得意なことは何かな? ・好きなこと・得意なことを生かして働いている大人はいるのかな?	企画書作成【30 時間】 ・自分たちの好きなこと・得意なことを生かせる大和町の事業所の困りごとはないかな? ・事業所の困りごとを解決する企画書を作成するには、何を調べないといけないかな?	ブラッシュアップ・職場体験【20 時間】 ・どうすれば、事業所にもっと貢献できるよりよいものになるだろうか? ・事業所の問題は解決できた? ・この学習を通して、自分はどう生きたいと思った? ・この学習を通して、もっとやってみたいことは?
手立て	・「好きなこと・得意なこと」が仕事で生かされていることを複数の職業の共通点として見つけられるように、教師と講師が事前に連携を行う。 ・自己分析を実施したのち、クラスメイトからの聞き取りや、キャリアノートの読み返しを通して、自分の好きなこと・得意なことの情報収集を実施する。	・教師と事業所が事前に連携し、生徒の好きなこと・得意なことが生かされる事業所の困りごと(選択肢)を用意する。 ・企画書に根拠を添えられるように、ロジックツリーを用いて構造化しながら、困りごとの解決方法を考えるように指導する。	・年間を通して、ご協力いただいた事業所の方から生徒の肯定的評価と課題を投げかけていただく。 ・この学習を通して気付いた「好きなこと・得意なこと」「もっとやってみたいこと」をキャリアノートに記録しておき、3年時の個人探究のテーマ設定につなげる。
知技	①③	②	
罫表	⑥	④⑤	⑦
査読	⑧-1	⑧-2	⑨⑩
ひまわり	水戸英裕、清水逸司、林哲也、豊田洋子、丸山久美子(三原未来デザイン)	野村直行(デザイナー) 職場体験先(大和認定こども園、大和アグリセンターなど)	職場体験先(大和認定こども園、大和アグリセンターなど)